かいゆうだより

2025.5.15　No.80

発行：社会福祉法人かいゆう　国立市青柳 1-34-3　☎042-595-8033　http://www.kaiyu.or.jp/

新年度のはじまりに

房総半島を縦断する小湊鉄道の上総大久保駅。「トトロに会えるかもしれない駅」でもあります。乗車の際は目を凝らして駅舎の中を探してみてくださいな。初めて乗った時は、レールバスと並走する感じでキジが走ってくれて、感動しました。駅猫とも遊べたし…。終点の上総中野駅でいすみ鉄道（「菜の花レール」と呼ばれています）に乗り継げば、外房大原まで行けちゃうから、大原で伊勢エビ食べるのもいいかも！（写真・文章　坂本俊治）

2024 年度は、障害福祉サービスの「制度のルールや基準」が 3 年ぶりに見直される『報酬改定』の年でした。支援の内容や事業所の運営にも関わる、大きな節目となる年です。かいゆうでは、大きな報酬額の変動はなかったものの、制度見直しに伴う現場の調整や実務的な負担の増加など、様々な影響がありました。報酬改定後の急な事業所の閉鎖を耳にするたび、複雑な気持ちになります。

かいゆうには、ライフステージにおける様々な暮らしの相談や支援の依頼が寄せられています。しかしながら、全国的に働き手が減るなかで、そのニーズ、支援の依頼に応えていくための人材確保が大きな課題となっています。「人手不足だから仕方ない」で終わらせず、安定的な法人運営基盤の確立、支援の質を落とさずに続けていくための組織・体制づくりに取り組むことが求められていて、その解決の方法を考え実践する必要があるのだと、強く感じています。

今年度は、デジタルの活用や業務の見直しを進めながら、職員の負担の軽減、安心して働き続けられる環境づくりと共に、地域の中で一人ひとりが「自分らしく活きる」ことを実現するための支援の両立をめざし、粘り強く取り組んでいきます。

これまで、かいゆうが地域の中で活動を続けてこられたのは、職員一人ひとりの努力はもちろんのこと、なによりも、日々ともに歩んできたかいゆうを利用されている方、ご家族の皆さん、そして地域の支えがあったからこそです。

2025 年度も、年齢や立場をこえた対話を大切に、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと思います。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

（理事長　池田希咲）

相談支援エプシロン

両方でひとつ

去年の秋に観た二つの劇を紹介します。一つ目は、人形劇「ないた桃太郎」。プーク人形劇場という新宿駅南口近くの小さな劇場で公演がありました。舞台は精神科病院。入院患者の太郎が持っている鬼の人形は、実は桃太郎に退治された鬼の子どもで、ある夕方太郎を「桃太郎」と呼び、「お前のせいでめちゃめちゃだ。父さんを返せ。父さんたちが何をしたっていうんだ」と責めます。戸惑う太郎は鬼の子どもに誘われて、夜遅くに一緒に鬼ヶ島へ。そこは隔離室で、そこにいた赤鬼から、鬼だからというだけで都から追い出された鬼ヶ島での貧しくて厳しい暮らしの話を聞きます。だから都に盗みに行ったのだと。衝撃を受けた太郎は深夜の病棟ホールで泣き崩れます。「知らなかった。鬼にそんな事情があったなんて。鬼だからって、なんで都で一緒に暮らしてはいけないの！」。排除の物語は、病院に 20 年間入院している太郎の物語でもあり、看護師からそれを聞いた鬼は、「本当に退治しなくちゃいけないのは何なんだ」と呟きます。そして太郎も鬼も鬼の子も看護師も、一緒に歌います。「おに～のパンツは良いパンツ～ 強いぞ強いぞ」。

たくさんの記憶が揺り起こされる劇でした。新しい気づきとしては、長年精神の病気と共に生きている人の身体が、舞台の上で、とても表現力があるということです。劇団態変という金満里さん主宰の身体障害者がレオタード姿でパフォーマンスをする劇団がありますが、その舞台は身体的健常者には表現することの不可能な身体のライン、動きを見続けることになり圧倒されます。「ないた桃太郎」を観たときも、長く病気でいて強い薬も飲み続けているであろう人たちの身体のライン、動き、表情、間合い、声は精神的健常者には全く表現し得ないものと感じ、強い感銘を受けました。

もう一つの劇は、現代語で読み解く能の物語「蝉丸と逆髪（さかがみ）」。これもまた強烈でした。逆髪のセリフ「何もかも逆さま」「両方でひとつ」は、芝居を観たあとも長くわたしの心の中にコダマし続けています。このセリフだけを切り取って聞いても何のことやらと思うと思いますが、別の言葉で説明をするのは難しく、ご容赦ください。能楽堂の空間で、そのセリフが丸ごと、思想として、わたしに非常に深く突き刺さりました。「物狂い」の逆髪が繰り返し言うのです。「何もかも逆さま」「両方でひとつ」「行くも帰るも同じこと」「知るも知らぬも逢坂の関」。

わたし自身、虐待であるか/ないか。ハラスメントであるか/ないか。そんな問いに答えねばならないことに苦しんできたからだと思います。コダマを聞きながら、線を引こうとすることをやめればいいのだと思いました。本来線を引けないものを、ふたつに分けようとしない。ひとつなのだから。

もしまた同じような状況に陥ったとき、今度は「分ける」のではない向かい合い方をしていけたらと思います。（白川）

*「ないた桃太郎」（作：松本直之）、ＮＰＯ法人東京ソテリア主催、世界精神保健デー普及啓発事業

*「蝉丸と逆髪」（作：くるみざわしん、演出：笠井賢一）

すうぇる

植物

みなさんは植物好きですか？

私は、なんとなくインテリアとして飾ってみたのですが、お世話をしているうちに愛着が湧き、今では大好きになりました。葉っぱの形や色、大きさまで個性があって、眺めていて飽きないのです。まだ 2 鉢しか育てていないので、もう少し植物を増やしていきたいと思っています。

花屋で気になっていた水耕栽培のヒヤシンスも育てているので（ただ水換えをしているだけ）どんな綺麗な花を咲かせてくれるのか今から楽しみです。（大植）

はじめの一歩ハウス

新しい家族

昨年10月、うちにハムスターがやってきました！ゴールデンハムスターの女の子で、名前を「はむに」といいます。はじめは怖がられ、指をかまれることもありましたが…今では名前を呼ぶと近寄ってきてくれるようになりました！とてもかわいいです♡

動物をお迎えしたのは初めてなので、分からないことも多いです…。家にハムがいる友達に相談したり、他のハム飼いの方の記録など読んで参考にしています。最近はペレット(カリカリ)や木の実以外の、ハムスターでも食べられる食材を調べてあげています。シャインマスカットやいちごなど、自分が食べたくても我慢していたものもはむにの為ならポンと買ってしまいます…。今では、はむにのために仕事を頑張っていると言っても過言ではありません。夜勤中など、思い出して会いたくなる時もありますが、もっと良いごはんやおやつ、住処を提供するために仕事を頑張りたいです！

おうちにハムスターがいる方がいらっしゃいましたら、是非教えて下さい♪写真を見せ合い、幸せを共有したいです🐹（遠藤）

丹羽一成さん

おかえりなさい！！！

昨年11月から大腿骨頸部骨折の治療・リハビリのため入院生活を送られていた一成さんが、1月23日に退院しました。

退院後は大変なこともあるかと思いますが、ニコニコ笑顔の一成さんと一緒に暮らす仲間たち、そして私たちスタッフみんなで頑張っていきたいです😊よろしくお願いします！

★青柳わっしょいまつり★　今年もやります！

日時：2025年5月18日(日)10:00－15:00

場所：青柳グループホーム前(国立市青柳1丁目34-3)

※雨天中止

メゾン・ド・歩人

短い春に

昨年の８月よりメゾン・ド・歩人で勤務しております加藤健太と申します。ずっと福祉の仕事をしてきましたがグループホームは初めてとなります。最初は不安でしたが今はアットホームな雰囲気の中、入居者の方と仲良くさせていただきスタッフの皆さんの細やかな心配りに多くの学びがある日々です。本当にありがとうございます。

ここで少しマイブームの話ですが、私は２匹のフレンチブルドッグ（うたちゃん、いろくん）を飼っておりとても癒されています。夜寝るのも一緒でまさに至福のひと時です。

家族と四季の様々なイベントを楽しむのも好きです。歩人にはアウトドア達人長田さんがおられるので、色々と聞きながら犬連れキャンプにもはまり始めています。難点は暑さ寒さが苦手なフレブルとは行く時期が限られてしまうことです。

４月に犬連れキャンプ泊をしましたが春秋が年々短くなってきていると言われる日本・・・もう犬連れ秋キャンプの計画を立て始めています。笑

歩人でも皆さんと年間を通して益々楽しく過ごしていきたいと思っています！何卒よろしくお願いいたします。（加藤）

くじらっこ

ありがとうございました。

くじらっこで管理者を努めています宮崎です。私事ではございますが、2025 年 6 月末をもちましてかいゆうを退職する事になりました。最後のご挨拶とともに感謝の気持ちを綴らせてください。

保育士を目指す中、20 歳でくじら雲と出会いました。しょうがいという分野は未知でしたが、スタッフの温かさ、利用者さんの「らしさ」に心惹かれこの業界に進む事を決めました。今日まで楽しい事、辛い事、迷った事、たくさんありましたが、この仕事に出会い働けた事、ここまで続けてこれた事、本当にしあわせに感じています。すぐ怒ってすぐ泣いて、そしてすぐ笑って、でも拗ねて。そんな天真爛漫という言葉が良くも悪くもぴったりな私が、いつの日にか管理者という立場になり、相手を想い考える事・寄り添う事、そして愛する事、仕事だけでなく人として大切な事を学べたのは、利用者様をはじめ出会ってくださった全ての方のお陰です。皆様との出会いがわたしを成長させてくださいました。

出会いを含め、自分に起きる・起きた事には全て意味がある。意味があるというより「意味のあるものにしていく」ことが、より人生をそして自分自身を豊かにする、そんな風に考え受け止められるようになりました。今日までたくさんの愛をいただいた分、その受け取った愛を返していけるようなそんな人間になりたいと思います。

言葉ではうまく伝えきれませんが、本当にたくさんたくさん感謝しています。関係性は変わりますが、いつも皆様の健康としあわせを願っています。

16 年間本当にありがとうございました！

（くじらっこ　宮崎麻美）

～イベントのお知らせ～

「羊毛アートにふれよう」

日時：2025年6月7日㈯13:30～15:30
場所：たまりば宙
定員：10名
参加費：500円
（ニードルと刺繍木枠をお持ちの方はご持参ください）
教えてくれる人：たまりば宙スタッフ
～申し込みお問い合わせたまりば宙まで～
Tel：042-843-0443
住所：国立市富士見台1丁目17-17 1-A

☆ご報告☆
たまりば宙に設置した募金箱に集まった皆さまからの支援金をこの度大船渡市赤崎町林野火災の義援金として送金させていただきました。金額：5，197円です。
ご寄付頂きありがとうございました。

2024年度ボランティアの皆様

矢内愛子さん　入山鉄次さん　結城翠唱さん　高原昇さん

児玉谷さん　佐藤さん　吉田ちひろさん　川口熙さん

白井章子さん　小山信子さん　加藤正猛さん　榊山藍生さん

かいゆうを支えてくださっている皆様

（順不同）

２０２４年１月から２０２５年３月までにご寄付くださった皆様

伊藤邦雄様　角南義孝様　円谷恭子様　小峰ひろみ様

結城翠唱様　孝一様　岩下摩樹様　原田恭子様

田中芽紅様　凛音様　網谷道穂様　藤原はるみ様

飯田元様　花岡美雪様　大塚靖子様　小島都様

大澤明子様　国立のぞみ教会様

国立のぞみ教会 CPW 様

N.F 様　K.M 様　D.R 様　F.K 様　M.T 様　U.K 様　他１名

（順不同）

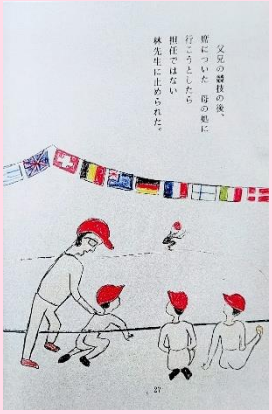
ありがとうございました

読者の声　募集中♪

かいゆうだよりへのご意見・要望・ご感想などなどメールにて募集しています！

✉info@kaiyu.or.jp

ポニー水上自伝 もめんのように 9



父兄の競技の後、
席についた　母の処に
行こうとしたら
担任ではない
林先生に止められた。

私の母と
美保さんのお母さんと
はるみさんのお母さんが
教室のお掃除をしている時
私達は
グラウンドの奥まで歩いた。